

### マンミン夏のキャンプ

国内外の聖徒が待ちに待った2011年マンミン夏のキャンプが全羅北道ムジュリゾートであった。

### 私を強くくださる方によって

終わりの時、神によって強くされて、神の国に尊く用いられる働き人になるには、どうすればよいか？  
支教会9月スケジュール

### The POWER OF GOD

WCDN第8回国際キリスト教医学学会での事例発表  
「多くの人が苦しんでいる皮膚病が完全にいやされました」キム・ジュンソン博士(1大大4教区,小児科専門医)

### 「忘れられないキャンプでした」

世界的な行事になったマンミン夏のキャンプ。海外からの参加者の恵み深い証しを紹介する。

# 万民ニュース

第106号 2011. 8. 28.

## MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org/Japanese

## 国境を越えた世界人の霊的祝祭,マンミン夏のキャンプ 「信頼」をテーマに30か国,約7千人が参加



8月1-3日、ムジュリゾートで「信頼」をテーマに開かれた2011年マンミン男女宣教会夏のキャンプは、国内外の教役者と聖徒が参加し、愛と恵みに満ちた祝祭だった。イ・ボンニム祈禱院長と芸能委員長イ・ヒジン牧師の教育、男女宣教会総指導教師イ・ヒソン牧師が導いたキャンプファイアと体育大会、不思議体験など、すべてのプログラムが感動的だった

夏の休暇を利用した教会キャンプは、霊的な再充電と同時に、主の愛に包まれて生ける神に出会える尊い機会である。

今年8月1日から3日まで、全羅北道ムジュリゾートで「信頼」(ヨハネ15:1-8)をテーマに2011年マンミン男女宣教会の夏のキャンプがあった。ソウル、テジョン、プサンなど韓国国内だけでなく、アメリカ、カナダ、ベルギー、カザフスタン、イスラエル、シンガポール、日本、フィリピン、中国など海外29か国の教役者と聖徒330人余りが参加して、名実ともにグローバル大祝祭になった。

万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師の

録音の祈りで始まった第一日の教育で、マンミン祈禱院イ・ボンニム院長は「新しいエルサレムへ向けられた祈り」というタイトルで「貝が苦しみを耐え忍んで真珠を作り出すように、耐え忍んで自分の中から真理に逆らうものを取り出して、良い心を満たせば、最も美しい主の花嫁になれる」と語った。

二日目の午前にあった体育大会は、国内外の聖徒が信仰・希望・愛の3チームに分れて進められた。玉入れを皮切りに大縄跳び、サッカー、バレーボール、PK戦、アドバルーン転がし、綱引き、障害物競技、リレーで一つになり、友情を固めた。また、各チームの熱を帯びた応

援合戦は体育大会をさらに幸せにした。

優勝は「愛」チーム、MVPにはテジョン万民教会のパク・ウンギル、ベルギーのジェニファー選手が選ばれた。夕方の教育では、芸能委員会委員長イ・ヒジン牧師が「信頼」(ヨハネ15:1-8)というタイトルで「私たちは牧者を通して信仰が成長できるように、霊の空間をいつも体験している。霊の空間を悟れば牧者の心がわかるし、牧者を信頼するとき、最も美しい天国、新しいエルサレムと一緒にいける」と語った。

その後、全国男女宣教会の総指導教師イ・ヒソン牧師が導いた聖霊充滿祈禱会とキャンプファイアでは、天国の望みがあふれる感動

的な賛美と花火で神に栄光を帰して、決断の時になった。国境を越えた聖徒の交わりと一つになる場であった。また、数多くの人の心を慰めて、祈りに答えて祝福される神の愛を思いきり感じさせた。8月第1週は全国的に豪雨と猛暑が続くという天気予報とは違い、堂会長イ・ジェロク牧師が祈ったとおり、穏やかで涼しいキャンプになった。また虹、星の移動、多様なオーロラのような光と形など不思議なみわざが見られた。今年も変わらず聖徒の肩、手、顔などにトンボが飛んできてとまった。トンボのおかげで蚊や蛾のいない快適なキャンプになった。(関連記事4面)

# 私を強くしてくださる方によって

「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」(ピリピ4:13)



堂会長イ・ジェロク牧師

神の国を実現していくあらゆる使命は、肉の能力ではできません。光を照らせば闇が退くように、霊の力をもって、敵である悪魔・サタンを退けなければならないからです。

肉の知識や愛では、この霊の戦いで勝つことはできません。濃い愛と熱い心をもって、自分にゆだねられた魂を光の中に導ける力を切に求めなければならないのです。自分の力ではできないけれど、神によって強くされれば、どんなことでもできるのです。

終わりの時、神によって強くされて尊く用いられる働き人になるには、どうすればよいのでしょうか？

## 第一に、神のことばを霊的に武具として身に着けなければなりません

神の国に用いられる働き人になるために、みことばを身に着けることは基本的な要件です。たとえば、霊肉ともにみことばがよく身に着いていないなら、聖徒にアドバイスしたり訪問したりするとき、困ってしまうことがあります。相手にアドバイスしたいことが心にはあるけれど、うまく表現できなかつたり、適切なたとえが思い浮かばないので、もじもじするようになります。

皆さんが真理を心に耕しているなら、たとえ話は上手でなくても、相手に恵みを及ぼすことができます。そのつど話すのは、皆さんのうちにあつて話される父御霊だからです(マタイ10:20)。しかし、「聖霊が働かれるから自分は何もしなくてもいい」と思つてはいけません。みことばを体系立てて自分のものにするのと同時に、火のように祈ることによって霊的な武具として身に着けると、聖霊にまっと働きかけられるようになります。

もちろん、重要度から言うと、霊的にみことばを身に着けることが優先です。闇を退けるのは光だけです。光の明るさによって、闇を退ける程度が決まります。流暢な言葉で説教や聖徒を訪問して、上手にアドバイスするからといって、人が変えられるわけではありません。自分の心がみことばによって変えられたほど、霊的な光で真理を悟らせて、心を変えさせることができます。

これまで数えきれないみことばを聞いても、まだ御霊の歩みに入っていない理由は何でしょうか？ それは慕う心が足りなくて、一瞬一瞬努力できなかったからです。みことばを聞いた時は恵みを受けても、持続的にその恵みが保てなかったのです。発見した罪の性質を捨てるために祈っていても、うやむやにしてしまったので、大きい変化がなかったのです。もう一度決断して、毎日毎日自分の心をチェックして、みことばを実践しますように。

## 第二、肉の欠如を満たさなければなりません

「肉の欠如」とは、人が成長過程で必ず経なければならないある過程を経なかったことで、霊肉ともに欠けている分野のことです。この欠如はいろいろな面で現れます。

心を守る意志力や決断力が深刻なくらい欠けていることもあります。霊的に善悪をわかまえる力が足りなかつたり、相手の心や感情に共感できない情緒的な欠如として現れたりします。容貌や身なり、身のこなしや話し方などが他の人に拒否感を与えることもあります。もちろん性分と知能、個性などに個人差はありますが、普遍的な基準にあまりにも達し

ていないとき、肉の欠如と言います。

肉の欠如自体が全部罪だとは言えませんが、それによって、どうしても他の人の目に恵み深くない姿が現れるようになります。時には、罪を捨てていくのに深刻な障害物になったりします。自分にこのような欠けている分野があれば、必ず発見して正さなければなりません。毎日毎日の暮らしの中で、表情や身のこなし、話す時の習慣など、ささいなところまでも、主の教育によって整えていきますように。

もちろん、欠けている分野を自分で悟って捨てていくことはやさしくないかもしれません。どういう面が欠けているのかよくわからないこともあり、知っていても、小さい時から作られてきたので、簡単に直せないこともあります。しかし、みことばを自分のものにして火のように祈れば、まるで鏡に顔を映してみるように、自分の欠けているところが発見できます。完全になることを慕って切に祈れば、御霊の力と神の知恵で十分に欠けている分野が満たせます。

## 第三に、霊の愛を持たなければなりません

みことばを霊の武具として身に着けて、肉の欠如を満たすほど、御霊に属する心に変えられます。その中に霊の愛が満たされて強くされ、働き人として使命を果たすことができます。

肉の愛を持つ人は、相手の立場が理

解できなくて、自分が良いと思うものを与えようとする。また、自分が良いものを与えたので、自分の思いどおり相手が反応することを期待して、あせって相手を変えさせようとする。そのように自分なりに熱心に努力してみても、相変わらず相手が変えられないなら、気を落としてあきらめます。

霊の愛を持つ人は、相手が自分の思いどおりにならないからといって、気を落としたり挫折したりしません。相手が悪い行いをしても、さばいて罪に定めたりしません。その人がなぜそうなのか、その心を理解して、必要なものを察して満たしてあげようとする。肉の目で見るときはとうてい変えられにくいような人も、信仰の目で望んで、最後まで変えられるように助けます。

肉の愛を与えることには意味がありません。信仰を植えて、いのちを植える霊の愛でなければならないのです。いくら施しをして、関心を持って話に耳を傾けても、肉の愛では人を変えさせることができません。

肉の愛を与えれば、少しは変化の様子が見えるようでも、時間が過ぎてみれば、実がないことがわかります。むしろ肉に属するものを植えて、誤った感じと感情を植える結果になってしまいます。したがって、皆さんの心に完全な霊の愛を耕して、その愛で人を変えさせて、いのちを植えてなければなりません。

## 日本支教会9月スケジュール

9月10日(土)	権能のいやし聖会	別府万民教会(講師:加藤勲牧師)
9月19日(月)	創立12周年記念礼拝及び牧師就任式	大阪万民教会(講師:イ・ヒソン牧師)
9月23日(金)	権能のリバイバル癒し聖会	舞鶴万民教会(講師:イ・ヒソン牧師)
9月24日(土)	権能いやし聖会	京都万民教会(講師:イ・ヒソン牧師)
9月25日(日)	創立17周年記念礼拝及びいやしの集会	名古屋万民教会(講師:イ・ヒソン牧師)
9月25日(日)	権能いやし聖会	東京万民教会(講師:崔ビョンラン牧師)
9月27日(火)	創立礼拝	沼津万民教会(講師:イ・ヒソン牧師)
9月28日(水)	権能いやし聖会	松本万民教会(講師:伊藤正明牧師)
9月28日(水)	権能いやし聖会	飯田万民教会(講師:柳スズキ <sup>やなぎ</sup> 牧師)

WCDN第8回国際キリスト教医学学会での事例発表

# THE POWER OF GOD

## 「多くの方が苦しんでいる皮膚病が完全にいやされました」

キム・ジュンソン博士(1大大4教区,小児科専門医)



世界のクリスチャン医師の集い、WCDN(World Christian Doctors Network)の韓国ディレクターとして、オーストラリアで開かれた第8回国際キリスト教医学学会で、皮膚病症例について神の力によるいやし事例を発表しました。

アトピー性皮膚炎、乾癬、汗疱真性皮膚炎、自家感作性皮膚炎、丹毒など、皮膚病はほとんど皮膚および皮膚付属器の激しい炎症を特徴としています。一部の患者は細菌感染を伴っており、医学的には強力な抗炎症剤および抗生剤などの治療が必要になります。

一方、アトピー性皮膚炎や乾癬などは、病気の特性上、非常に慢性的に進

行します。目覚ましい現代医学の発達にもかかわらず、治療が容易ではありません。度々再発し、これに伴ういろいろな合併症まで招く病気として知られています。今この瞬間にも、数多くの人々がこの病気で苦しんでいます。

私が発表した症例には共通点があります。患者がどんな医学的な治療も受けなかったし、ただ神の力でいやされることを願ったということです。

聖書に記されているとおり、神と自分との間を隔てている罪の壁を壊して、イエス・キリストに対する信仰によって祈りを受けると、その日から、あるいは数日も経たないうちに、患者の病変が非常に速く治りました。全く傷跡も合併症も残

さず、再発もなかったし、現在まで健康な状態を維持しています。

27か国から来た220人余りの医療スタッフは、いやし事例を見ながら非常に驚いて、神に栄光を帰しました。全知全能の神の力と、魂を愛するWCDN理事長イ・ジェロク牧師の献身的な祈りを通して、イエス・キリストの御名によって、現代医学でも治療の難しい病気がすみやかに、完璧にいやされたのです。

結論として、多様な皮膚病変は神の力でいやされることができると、病気の回復は悔い改めと信仰による祈りによって影響を受けます。したがって、霊的いやしの過程が肉的いやしの過程に先行すると言えます。

### アトピー性皮膚炎

(キム・スギョン,当時20才,ブサン)



2002年に祈りを受けた後、アトピー性皮膚炎がいやされた。だが高校3年生だった2004年の夏、神から離れているうちに病変がまた起きた。2005年7月、祈りを受けた後、病変は完全にいやされ、現在まで症状が出ていない。

### アトピー性皮膚炎

(パク・セヒ,当時16才,ヨス)



2007年6月、腕と脚に病変が起きて、顔まで急速に広がった。9月7日に祈りを受けた後、病変から分泌物が減って、かゆみが消えた。10月5日に祈りを受けた2,3日後、かさぶたができて新しい皮膚が生じた。現在、完治状態である。

### 自家感作性皮膚炎

(ユ・ビン,当時6才,チョンジュ)



2008年4月末、病変が起きて、自家感作性皮膚炎と診断された。9月に3回の祈りを受けた後、10月に病変は完治した。

### 汗疱真性皮膚炎

(ムン・ヘラン,当時22才,クァンジュ)



2009年8月9日、足がはれて痛み、10日には病変から分泌物が出て、痛みが激しくなった。22日に祈りを受けた後は、かさぶたができて始め、病変は順次好転した。9月23日に完治。

### 膿胞性乾癬

(キム・アヒョン,当時33才,ブサン)



2004年、水泡性皮膚病変が指に発生し、2005年10月には病変に分泌物が発生した。1週間後、はれて化膿性分泌物が出てきて、顔と右手にまで病変が進行した。10月22日に祈りを受けた1週間後、急速に好転して分泌物がなくなり、かさぶたが取れた。

### 丹毒

(チェ・ソンスク,当時37才,ソウル)



2008年2月26日、高熱が出て、27日には頬の周辺が赤くはれ始めた。めまいと視覚異常を訴え、丹毒と診断された。29日、金曜徹夜礼拝のいやしの集会で祈りを受けた後、熱が引いた。3月2日、はれが収まると翌日なくなり、回復した。



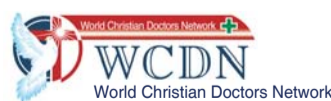
Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.manmintv.org  
e-mail: info@manmintv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

Japanese

## 万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ビン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-848 韓国ソウル市クロ区クロ3ドン235-3  
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048



教育

# 「忘れられない感動の現場でした」

マンミン男女宣教会夏のキャンプにはアメリカ、カナダ、ベルギー、カザフスタン、イスラエル、シンガポール、日本、フィリピン、中国など29か国の教役者と聖徒330人余りが参加して、世界的な霊的祝祭となった。みことばと祈り、しるしと不思議を期待し、慕う心で参加した彼らの恵み深い話を聞いてみる。

## しるしと不思議、神の力でヨーロッパが目覚めるように…

オランダ、リアナ・バン・ホルン(神学博士、AEGAヨーロッパ総会代表)

私はアメリカのルイジアナにある AEGA (Association of Evangelical Gospel Assemblies: 福音協会同盟) 本部から万民中央教会との協力のために派遣されました。

韓国訪問は初めてですが、とても目新しい体験をしています。マンミン男女宣教会夏のキャンプに参加して、さらに深く主のうちにとどまっているということが感じられました。

トンボがからだにとまるのも体験して、夜空の星が動くのも見ました。ムアン万民教会では空の虹を見て、虹の中から聖霊の火が下って柱になる光景を御霊に感

じて見ました。

今までしるしと不思議という話をよく聞きましたが、直接体験したのは今回が初めてです。神が生きておられて、このようなしるしと不思議、神の力を現されていると信じます。この体験を通して、しるしと不思議が見られないヨーロッパの魂を目ざめさせたらよいと思います。

私は昨年10月、エストニアのタリンでイ・ジェロク牧師が導かれた連合聖会に参加して、聖潔の福音を聞きました。心の中の真理に逆らうものを捨て、聖なる神のかたちを見つけなければならないということが、まさに聖潔の

福音の核心だと悟りました。今回のキャンプでは、人々の心が主の愛と神の力で変えられるのを見ました。

韓国で受けた恵みと悟りは、今後私がヨーロッパの魂のために働くのに大いに助けになると思います。ヨーロッパの人々を変えられるように、マンミンとさらに協力しながら、その使命を果たせるように願っています。



聖霊充滿祈禱会



体育大会



キャンプファイア



奇蹟のムアンの甘い水の泉訪問



トンボ体験

アメリカのニコライ・パルニコフ聖徒は「聞いていたとおり、キャンプがとても特別で多彩でした。ロシアでもアメリカでも、他のどこでも、こんなキャンプは見たことがありません。教育もとても良かったし、芸能チームのレベルの高い公演も印象的でした。これまでインターネットで万民中央教会の礼拝を一緒にささげて、神のみわざを見ましたが、直接トンボが手と頭にとまるのを体験すると、もっと感動しました」と語った。

フェルナンド・ボルボン駐韓コスタリカ大使は動く星を見て「神が私たちとともにおられるのを感じました」と感激していた。

体育大会のMVPに選ばれたベルギーのジェニファー姉妹は「思いがけずMVPに選ばれて、びっくりしました。神様が助けてくださってリレーに勝てました。ヨーロッパでキャンプにたくさん参加しましたが、マンミンのキャンプは神様がともにおられたことが確かに体験できて、とても感動的です。今回のキャンプは私にとって大きい祝福でした」と語った。

ロシア・サクトペテルブルク万民教会付属宣教師学校アレクセイ校長は「トンボが飛んできて、私のからだにとまったことがとても印象的でした。初日のイ・ボンニム祈禱院長の祈禱会がとても良かったです。先生が祈ってくださいましたが、初めから涙があふれて止まりませんでした」と感想を述べた。エカテリーカ夫人は「こんなに多くの聖徒が一つの心になって、非常に組織的にキャンプを進めている姿に大いに恵みを受けました」と述べた。

スリランカのパトリック・ローレンス牧師(聖ルカ教会/聖公会)は「たくさんの人が参加したことが印象的だったし、まるで天国に来たようでした」と語った。

イスラエルのマリア・コレン聖徒は「たくさんの人が一つの心で神をほめたたえる姿に大いに恵みを受けました。特別に教育のメッセージが人生で直接適用できるものだったので、とても良かったです」と言った。

また、イスラエルのアシュド万民教会のオレク・エルシヨフ牧師は「終始穏やかで涼しい天気で、恵みを受けました。神様が、行事がある時は雨が降らないで、太陽を雲で覆ってくださるのを見ました。会場に向かう時は雨が降っていて、『今日の体育大会はどうするのだろうか?』と思いました。周りの聖徒さんが『会場に行けば降っていませんよ』と確信に満ちて言いました。実際に会場に着いて、空が晴れあがっているのを見て、恵みを受けました」と言った。

ケニアのムエンゲ、ステラ、デボラ姉妹たちは「キャンプファイアがとても良かったです。イ・ヒソン先生と一緒に賛美したとき、神様の濃い愛を感じました。ムアンの甘い水の泉、トンボ、動く星、神秘的な五色の光などを直接体験できて幸せでした」と異口同音に述べた。

## 日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町 5-775-15  
T) 072-220-5289  
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F  
T) 03-3809-3326  
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト川崎万民教会  
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8  
グリーンヴァレ 301号室  
T) 044-287-7339

・イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会  
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138  
T) 0773-75-5656  
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会  
〒718-0005 岡山県新見市上市56フラワーコーポF  
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト八千代万民教会  
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670  
T) 047-483-3587

・イエス・キリスト銚田万民教会  
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6  
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会  
(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト京都万民教会  
〒612-8154 京都市伏見区向島津田町128-1  
とりまさビル3F  
T) 075-632-8201

・イエス・キリスト沼津万民教会  
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F  
T) 090-7727-8075

・横浜鶴見福音教会(協力)  
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4  
T) 045-521-5843